

茨木市議会議員(無所属)



あびこ浩子



ゆめ・みらい通信



豪雨が続いています



土砂災害や大雨にご注意ください



市民会館イメージ図

【あびこ浩子プロフィール】

- ◆玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了／大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人Chacha-House 代表理事／2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長
- ◆2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1選挙2期目当選／2013・1選挙3期目当選／2017・1選挙4期目当選
- ◆穂積地区 在住

みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

梅雨の末期になりましたが、気圧配置がひたすら日本列島の上に梅雨前線が停滞する形になっており、豪雨被害のあった場所に更なる大雨が降り続く天候となっております。茨木市でも大雨警報が発令され、早朝から「緊急速報」の通知音でびっくりするような状況です。多くの雨は止んだ後晴れた空になってホッとした時にもどんと河川に流れ込めます。増水や土砂災害に対して気を緩めることができません。6月議会で避難所に段ボールベッドを購入する予算が可決されました。実際に熊本の避難所で活用されている様子をテレビで見ました。令和2年度茨木市一般会計補正予算第2号での段ボールベッド購入台数は230台でした。段ボールは保管している間に強度が落ちていくということでたくさんを一度に購入するのは難しいとのことでした。人口が約28万人の茨木市で230台の備蓄で数足りるのかと思いますが、災害に備えて必要なものをいつ購入しておくべきなのか、判断が難しいと感じます。茨木市から人吉市に災害応援物資を送っているとのことでした。北部地震の時に多くの自治体から応援を頂いたので、出来ることをしていきたいとの思いが強くなります。

新型コロナの状況ですが、感染者数が特に東京で増えています。大阪も再び「黄色信号」が点灯されました。茨木市でも7月1日に1名、7日から10日に4名の新規感染者がおられます。しかし、人との交流を絶ってしまうことにも危惧があります。先日4か月ぶりに地域のセーフティネットワーク会議が開催されました。ステイホーム期間中に高齢者の方の認知症が進んだ例や足腰が弱った例、そして、外に出始めたら症状が治まった例などが報告されていました。感染予防しながら交流も続けるあり方、特に高齢者の方へどうするべきか模索が続きます。

[illegible]

茨木には積極的に活動している市民のネットワークが有り、このコロナの状況で「イーバーイツ」の活動を始めた若手のみなさんやそれを支えている商工会議所、その事務所は立命館大学の一隅にあり大学との連携や市民をつなぐ役割を果たしていると久隆浩教授、その活動を支える茨木市の存在も大きいとのお話でした。これからが楽しみです。

